



奨学金案内

2023



学内奨学金

タイプ	対象	奨学金名	給付額	採用人数
給付	経済支援型	学部生	駒澤大学百周年記念奨学金	50万円
		学部生	駒澤大学駒澤会奨学金	20万円
		学部生	駒澤大学同窓会奨学金	10万円
		大学院生	大学院給付奨学金	50万円
	学業奨励型	学部生	学業成績最優秀者奨学金	50万円
		受験生	自己推薦選抜（総合評価型）奨学金	50万円
	学業奨励型	受験生	駒澤大学全学部統一日程選抜奨学金	30万円
		受験生	駒澤大学新人の英知（一般選抜特待生）奨学金	授業料相当額

※法科大学院生は、法科大学院事務室にご相談ください。

高等教育の修学支援新制度 <給付>

タイプ	対象	奨学金名
給付	経済支援型	学部生 授業料等減免
		学部生 日本学生支援機構 給付奨学金

日本学生支援機構奨学金 <貸与> <支援金>

タイプ	対象	奨学金名
貸与	経済支援型	学部生 日本学生支援機構 第一種奨学金（無利子）
		大学院生
		学部生 日本学生支援機構 第二種奨学金（有利子）
		大学院生
給付		学部生 JASSO 災害支援金
		大学院生

地方公共団体・民間団体奨学金

タイプ	対象	概要
給付	経済支援型	学部生
		大学院生
	学業奨励型	学部生
		大学院生
貸与	経済支援型	学部生
		大学院生
	学業奨励型	学部生
		大学院生

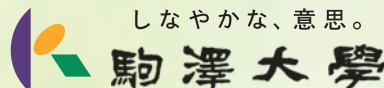
各団体からの募集は、大学ウェブサイト奨学金ページにてお知らせします。



大学ウェブサイト
奨学金ページ

大学による緊急時の支援

タイプ	対象	制度名
給付	経済支援型	学部生 家計急変学生に対する一時給付金制度
		大学院生
		学部生 大規模自然災害被災学生の授業料減免制度
	学業奨励型	大学院生
		学部生 大規模自然災害被災学生への経済的支援
		大学院生
貸与	経済支援型	学部生 学生短期貸付金制度
		大学院生



しなやかな、意思。

学生支援センター

③番窓口

日本学生支援機構奨学金窓口：日本学生支援機構奨学金

scholarship@komazawa-u.ac.jp

：学内奨学金、地方・民間団体、緊急時の支援

給付

駒澤大学百周年記念奨学金

経済支援

学部生

経済的理由により修学が困難な学生を対象とした奨学金で、奨学金の一部は駒澤大学教育後援会からの寄付によるものです。

給付額	年額 50 万円（7月と10月に分割給付）	申請要件（成績）	1年次生：高等学校における評定平均値 3.5 以上 2年次生以上：前年度までの GPA が 1.4 以上
採用人数	100 人以内		
給付期間	1 年間		
対象	日本国籍を有する 1・2・3・4 年次生。 ※ただし、日本国籍以外の場合で、特別永住者の在留資格を有する者または「出入国管理及び難民認定法第二」に規定される在留資格（永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者・子）を有する者は、対象となります。	申請要件（世帯年間収入）	給与所得しかない世帯 →給与収入 500 万円以下 給与所得以外の所得しかない世帯 給与所得とそれ以外の所得がある世帯 →所得金額 300 万円以下
		願書配付	4 月中旬以降に KONECO に配信
		申請	6月初旬

給付

駒澤大学駒澤会奨学金

経済支援

学部生

経済的理由により修学が困難な学生の中で学業成績が優秀な学生を対象とした奨学金で、駒澤大学駒澤会からの寄付によるものです。

給付額	年額 20 万円（7月と10月に分割給付）
採用人数	20 人以内
給付期間	1 年間
対象	駒澤大学百周年記念奨学金に申請し、駒澤大学百周年記念奨学金に採用されなかった者のうち、GPA が高い者。 学部 2 年次生以上が対象。

給付

駒澤大学同窓会奨学金

経済支援

学部生

経済的理由により修学が困難な学生を対象とした奨学金で、駒澤大学同窓会からの寄付によるものです。

給付額	年額 10 万円（7月と10月に分割給付）
採用人数	150 人以内
給付期間	1 年間
対象	駒澤大学百周年記念奨学金に申請し、駒澤大学百周年記念奨学金および駒澤大学駒澤会奨学金のいずれにも採用されなかった者のうち、世帯家計状況の困難な程度が高い者。

給付

大学院給付奨学金

経済支援

大学院生

経済的理由により修学が困難な学生を対象とした奨学金です。※法科大学院生は除きます。

給付額	年額 50 万円（7月と10月に分割給付）
採用人数	6 人以内
給付期間	1 年間
対象	日本国籍を有する大学院生。 ※ただし、日本国籍以外の場合で、特別永住者の在留資格を有する者または「出入国管理及び難民認定法第二」に規定される在留資格（永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者・子）を有する者は、対象となります。

給付

学業成績最優秀者奨学金

学業奨励

学部生

各学科各学年において最も優秀な学業成績を修めた者に給付します。2 年次生および 3 年次生は前年度の成績、4 年次生は 1 年次から 3 年次までの成績において、GPA が最優秀である者 1 人に給付します。

給付額	年額 50 万円（一括給付）	対象	2・3・4 年次生
採用人数	53 人	選考	4 月の奨学生選考委員会で決定します（学生による申請不要）。

給付

自己推薦選抜（総合評価型）奨学金

経済支援

受験生

自己推薦選抜（総合評価型）に合格・入学し、経済的理由により修学が困難な学生を対象に、学資として給付します。
※出願時に申込書を提出しなければなりません。

給付額	年額 50 万円（分割給付）	継続	進級時に家計要件を満たせば、4 年間継続可能。
採用人数	10 人以内	備考	他の学内奨学金や国の修学支援新制度との併給はできません。

給付

駒澤大学全学部統一日程選抜奨学金

学業奨励

受験生

全学部統一日程選抜に上位 200 名以内の得点で合格し、入学した学生を対象に、学資として給付します。
※本選抜出願者は全員自動エントリーされます。

給付額	年額 30 万円（分割給付）	継続	進級時に成績基準を満たせば、4 年間継続可能。
採用人数	200 人	備考	他の学内奨学金との併給はできません。

給付

駒澤大学新人の英知（一般選抜特待生）奨学金

学業奨励

受験生

2 月実施の一般選抜 T 方式（GMS 学部は S 方式）を受験し、優秀な成績で合格・入学した方を対象に、学資として給付します。
※出願時に申込書を提出しなければなりません。

給付額	授業料相当額（一括給付）	継続	進級時に成績基準を満たせば、4 年間継続可能。
採用人数	64 人	備考	他の学内奨学金との併給はできません。

大学による「授業料・入学金の減免」と日本学生支援機構による「給付型奨学金の支給」の2つの支援がセットになった制度です。

募集時期	<p>①予約採用：高等学校在学時に申請 ※大学入学後の4月に所定の手続きをしてください。 ②定期採用：4月および9月</p>	
支援対象者となる学生	<p>住民税非課税世帯 及び それに準ずる世帯 ※家計基準を満たしているのかは、日本学生支援機構の 「進学資金シミュレーター」で調べることができます。</p>	進学資金シミュレーター
学業に係る要件	<p>〈入学1年目〉 高等学校在学時の評定平均値、または学修計画書（学修の意欲や目的、将来の人生設計等を確認）の提出などにより、学修意欲があると認められた学生が対象です。</p> <p>〈入学2年目以降〉 在学中のGPAや単位の取得状況と学修計画書（学修の意欲や目的、将来の人生設計等を確認）の提出などにより、学修意欲があると認められた人が対象です。</p>	
申込に係る要件	<p>日本国籍、法定特別永住者、永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。 高等学校等を卒業してから2年の間までに大学等に入学を認められ、進学した者であって、過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。 保有する資産が一定の水準を超えていないこと（申告による）。</p>	
備考	詳細は、日本学生支援機構発行の「給付奨学金案内」を参照してください。	

授業料等減免	給付型奨学金	
支援区分に応じて、駒澤大学によって、授業料・入学金が免除または減額されます。	支援区分に応じて、日本学生支援機構によって、奨学金が給付されます。	
例) 2022年度に仏教学部に入学した場合の減免額	給付奨学金（月額）	
	入学金	授業料
第Ⅰ区分(3/3支援)	200,000円	700,000円※
第Ⅱ区分(2/3支援)	133,400円	466,700円
第Ⅲ区分(1/3支援)	66,700円	233,400円
※授業料減免上限額		
	自宅	自宅外
一般世帯	42,500円	75,800円
第Ⅰ区分(3/3支援)	38,300円	50,600円
第Ⅱ区分(2/3支援)	25,600円	14,200円
第Ⅲ区分(1/3支援)	12,800円	25,300円

日本学生支援機構奨学金 貸与（第一種・第二種）

学部生

大学院生

日本学生支援機構（JASSO）の貸与型奨学金は、学生本人に貸与されます。
募集時期は、毎年4月です。年によっては、9月頃に二次募集があります。
入学前に（高校や大学で）予約採用を受けている方は、入学後に所定の手続きを忘れずにおこなってください。
詳細は、日本学生支援機構発行の「奨学金を希望する皆さんへ」を参照してください。

学部生	第一種奨学金（無利子）		第二種奨学金（有利子）
利息	利息なし		利息あり
金額（月額）	自宅通学：2万円・3万円・4万円・5万4千円から選択 自宅外通学：2万円・3万円・4万円・5万円・6万4千円から選択		2万円～12万円まで、1万円単位で貸与月額を選択

大学院生	第一種奨学金（無利子）		第二種奨学金（有利子）
利息	利息なし		利息あり
金額（月額）	〈修士課程〉 5万円・8万8千円から選択 〈博士後期課程〉 8万円・12万2千円から選択		5万円・8万円・10万円・13万円・15万円から選択

JASSO 災害支援金

学部生

大学院生

自然災害や火災などにより、学生本人やその生計維持者が現に住んでいる家が、半壊（半流出・半埋没及び半焼失を含みます）以上の被害を受けたり、床上浸水となったり、自治体からの避難勧告等が1か月以上続いたりした方。

※学修に意欲があり、修業年限で学業を確実に修了できる見込みがあると学校長が認める方が対象になります。

支援金	10万円
-----	------

※裏面に記載されている大規模自然災害被災学生の授業料減免制度および大規模自然災害被災学生への経済的支援との併給が可能です。

地方公共団体（都道府県市町村）や民間団体が実施する奨学生です。
それぞれの独自方針に基づき、出身地や所属学部を限定するもの、私費外国人留学生に限定するものなど、さまざまです。
募集団体が奨学生を選考して採否を決定します。

■募集案内 ■

募集依頼が大学に届き次第、大学ウェブサイト奨学生ページで申請方法を含む詳細をお知らせします。

■申請方法 ■

各団体への申請方法は、おおむね以下の3通りです。

- ①大学推薦 学内選考をおこなって推薦者を決め、団体に申請。
- ②大学とりまとめ 学内選考はおこなわず、申請者全員を団体に申請。
- ③直接申請 申請希望者が直接、団体に申請書類を提出。



大学ウェブサイト
奨学生ページ

■推薦書 ■

多くの募集団体では、推薦書の提出が求められますので、指導教員に作成依頼してください。

新入生などで指導教員がない場合は、所属する学部・学科の事務室にその旨を伝え、教員の紹介を依頼してください。
推薦書作成には時間を要するので、早めに依頼するようにしてください。

給付 家計急変学生に対する一時給付金制度

保証人の死亡等で修学が困難になった学生の学業継続を支援することを目的とした、駒澤大学教育後援会からの寄付金による給付制度です。

給付額	上限 30万円
対象	主たる家計支持者の死亡等により修学が困難になった学生。 申請要件は、主たる家計支持者の年収が、給与所得者の場合841万円以下、給与所得者以外の場合355万円以下であること。 学業継続の意思が強固で、修学の見込みがあると認められること。他種奨学生との重複採用が可能。
審査	審査により給付の可否を決定します。

給付 大規模自然災害被災学生の授業料減免制度

保証人が災害対策基本法の定める激甚災害により被災した場合に、被害状況に応じて授業料減免をおこないます。

減免額	授業料の全額または半額（原則として単年度限り）
対象	災害対策基本法の定める激甚災害によって家計支持者が被災し、死亡又は行方不明、重傷を負った等により家計支持者の収入が途絶えたあるいは減少し家計維持が困難となった学生。 被災したこと及び家計支持者の収入が途絶えた若しくは減少したことを自治体等の発行する罹災証明書等により証明できること。
審査	審査により減免の可否を決定します。

給付 大規模自然災害被災学生への経済的支援

上記「大規模自然災害被災学生の授業料減免制度」に該当しない方を対象として、被害状況に応じて経済的支援をおこないます。

給付額	家計支持者（保証人）の死亡又は保証人の居住する家屋の全壊 20万円 家計支持者（保証人）の居住する家屋の半壊 10万円 家計支持者（保証人）の居住する家屋の一部損壊 5万円 家計支持者（保証人）の居住する家屋の床上浸水 10万円 家計支持者（保証人）の居住する家屋の床下浸水 5万円
対象	大規模自然災害により被害（保証人の死亡、保証人の居住する家屋の全壊・半壊・一部損壊・床上浸水・床下浸水）を受け、自治体等の発行する罹災証明書等により被災を証明できる学生。
審査	審査により支援の可否を決定します。

貸与 学生短期貸付金制度

盗難・紛失等不測の事態によって緊急に現金が必要になった場合の貸付制度です。

貸与額	2万円まで（特別に認めた場合は3万円まで）
返済	貸与した日から1ヶ月以内。